

# 発熱と解熱剤について



## ☆熱が出ても慌てないで！

子供はよく熱を出します。熱は夕方や夜から上がってくる傾向があります。

熱は自分の体を守るための防御反応です。

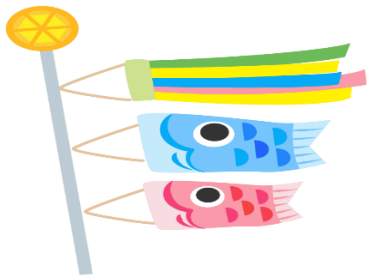
熱が上がると・・・体内の免疫細胞の活動が高まってウイルスや細胞への攻撃力が高まります。

つまり発熱とは、ウイルスや細胞と闘うために、脳からの命令によって体温を上げているのです。

## ☆解熱剤について？

### 解熱剤で病気はなおるの？

一時的に熱を下げるだけで、病気が治るわけではありません。



### 解熱剤の正しい使い方

高熱でつらそうにしているときは、解熱剤を使って一時的に熱を下げれば楽になります。解熱剤はむやみに使わず状態によって判断してください。

解熱剤を使うタイミングは、体温や時間で決めないようにしましょう。

## 子供に解熱剤を使うときはどんな時？

近年では発熱している方が細菌ウイルスを押さえる物質が多く出ることが分かってきていて熱は無理に下げないようにしているようですが、あまり熱が高いと、全身が衰弱し食事や水分も取れなくなってしまいます、こんな時に解熱剤が必要になります。

食事のとり具合や、全身の元気の良さ、水分摂取の程度をみて、臨機応変に使いましょう。

また、一度解熱剤を使ったら6時間以上間隔をあげ様子を見てください。直ぐに熱が下がらないといって追加して使わないように気をつけましょう。(解熱剤で無理やり熱を下げてしまうと、かえって病原体が活性化し、病気を長引かせたり、熱の変動が激しいことで、子供の体への負担がかかり、より深刻な病気になることがあります)

解熱剤以外にも首の周り、わきの下を氷枕のようなもので冷やすことで、余分な熱を取り去り、体が楽になります。(冷やしすぎには注意)

❁ 熱が出たらその原因を突き止め、根本的な治療を行うことが大切です ❁